

社協だより



2026.7

発行：社会福祉法人 **川崎町社会福祉協議会**

〒989-1501 川崎町大字前川字北原23-1

No.111

TEL 0224-85-1222 FAX 0224-85-1224

E-mail kawasakit-shakyo@io.ocn.ne.jp

元気にいってらっしゃい 新1年生へ贈り物



～子供見守り事業より～

熊除け鈴、防犯ブザー、反射材付きバッグ、贈呈

町内で時々出没する熊対策や、事件事故を回避できるよう、今年度も町内の全小中学校新入学児童・生徒へ熊除け鈴を、さらに小学校新入学児童へ防犯ブザー、反射材付きバッグ、交通安全ポーチを贈呈しました。

安心安全で、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

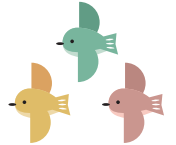
子供見守り事業は、町民の皆さまからの歳末たすけあい募金が役立てられています。

令和8年度 川崎町社会福祉協議会 事業計画

重点事業

1. 災害・防災に対する知識の習得・防災意識の向上
2. 包括的支援体制の強化
3. 第2次地域福祉活動計画の策定
4. 日常生活自立支援事業（まもり一歩）の充実
5. 財政基盤の立て直しに向けた取組み

【令和8年度実施事業】



I 地域福祉の推進

いつまでも住み慣れた町で生活をするためには、世代を問わない地域住民の方の協力をはじめ、行政、福祉、ボランティアとの連携を強化し、一体的に社会福祉に取り組んでいく事が重要です。また、地域福祉活動計画に沿った事業の展開を図り、実効性のある計画の推進を目指していきます。

1. 地域福祉推進事業

① 地域福祉ネットワーク事業

地域住民と関係機関・ボランティア団体等の協働による支え合い事業の推進を目的にネットワークの構築を図り、関係団体等と連携しながら各種事業の展開を図ります。



安心カードの作成・配布…一人暮らし高齢者等(民生委員と連携)

災害・防災に関する出前講座の開催(随時)



② ボランティアセンター事業

ボランティアセンターでは、ボランティアに関する各種相談、活動調整、ボランティア団体等との連携、情報発信提供、人材育成など、ボランティア活動の基盤整備を図りながら事業の展開に努めます。また、災害時における災害ボランティアセンター運営や、職員派遣を行い被災地社協の支援にあたります。



サロン活動の推進…地域交流や生きがいづくり(随時相談)、サロンへの訪問、レクリエーション出前講座の開催。友の会での活動(月1回)

④ 見守り支援ネットワーク事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりのために、地域の中の生活課題や福祉ニーズを把握するとともに解決できる体制づくりを行えるよう、民生委員や地域包括センターと連携し、ネットワーク事業の展開に努めます。



防犯ブザーの配布、熊除け鈴の配布

③ 福祉教育推進事業

「ふだんの 暮らしの しあわせ」とは、何か？ キャップハンディ体験では障がいのある方に対して思いやる気持ちや気づきを育み、ボランティアサマーフェスタや地域指定福祉教育委員会事業の世代間交流では、様々な出会いやふれあいを体験し、防災教育については毎年起きる災害に対して、知識や技術を学び、防災の大切さ・災害時に生き抜く力・協力する大切さを養うことを目的に事業の展開に努めてまいります。



世代間交流事業…地域住民、学校との連携、交流を図る(随時)

⑤ 地域福祉型福祉サービス事業

生活上の困りごとや、ニーズに対応するため、公的な制度では補えない制度の狭間において支援ができるよう、事業の企画推進を図ります。

⑥ 町受託事業

町受託事業の在宅福祉サービスの円滑な提供に努めます。また、高齢者サービスのほか、児童の健全育成の場となる放課後児童教室を運営し、子どもから高齢者まで広くサービスを提供します。

⑦ 当事者等支援事業

一人暮らし高齢者、高齢者世帯、障がい者世帯、また、生活困窮者や災害に遭われた方への支援を図りながら、「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を目指した地域福祉の向上に努めます。



一人暮らし高齢者支援…(ほのほの会)

3 かわさき 社協だより

8 共同募金委員会事業

赤い羽根共同募金運動や歳末たすけあい募金運動などの募金運動の啓発と募金活動の展開を図ります。また、募金実績によって配分される共同募金配分金により地域福祉の向上を図ります。

10 調査研究事業

地域での課題やニーズの掘り起こし等、地域の実情を把握するため調査を行い、地域福祉の推進を図ります。

9 福祉関係機関・団体との連携

様々な福祉団体と連携し地域福祉の向上を図る。また、福祉団体の事務局も担い、団体活動の支援と育成に努めます。



2. 福祉サービス利用援助事業

1 日常生活自立支援事業(まもり一歩事業)

認知症などにより判断能力が不十分な方の金銭管理等を行い、地域において安心して生活を送ることができるよう支援を行います。

3 法人後見事業

認知症や知的障がい、精神障がいなどによって物事を判断する能力が十分でない方の保護と権利を守るため、成年後見制度の普及、推進を図ります。

- ①成年後見制度の推進
- ②成年後見の適正な運営…現在2名を受任し生活支援をしています。
- ③地域包括支援センター・保健福祉課との連携

2 生活相談運営事業

誰もが気軽に来所できる心配事相談所として、住民の様々な生活相談に応じ、身近な相談窓口に努めます。

4 各種福祉資金の貸付事業

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯等の経済的自立と生活意欲の助長促進のために、安定した生活が図られることを支援するため、必要な資金の貸付を行います。

5 苦情受付・解決窓口の開設

苦情解決の責任者及び受付担当者を置き、中立公正な第三者委員とともに、提供するサービスについて、利用者からの苦情の適切な解決に努めます。

II 在宅福祉サービスの推進

介護や医療が必要となっても、これまでどおり住み慣れた地域(生活の場)で生活を続けたい、という意思を尊重した利用者主体の介護サービスの提供に向けて、事業所としての専門性や資質の向上に努め、主治医や医療系サービスとの連携を図ります。

1. 介護保険事業の推進

1 居宅介護支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために要介護認定を受けた方のケアプランを作成し、可能な限り在宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援します。

3 通所介護・予防通所介護事業

介護を必要とする高齢者などに対して、必要な日常生活上の介護や機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持を援助します。また、介護者の身体的・精神的負担の軽減を図りながらサービスの提供を行います。

2 訪問介護・予防訪問介護事業

介護を必要とする高齢者などに対して、日常生活全般の状況及び要望を踏まえて自立した生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事の介助、その他生活全般にわたる援助を行います。



III 法人運営体制の整備

社会福祉法その他の関係法令等を遵守し、法人の適正な運営と透明性の向上に努めます。

1. 社協基盤の充実・強化

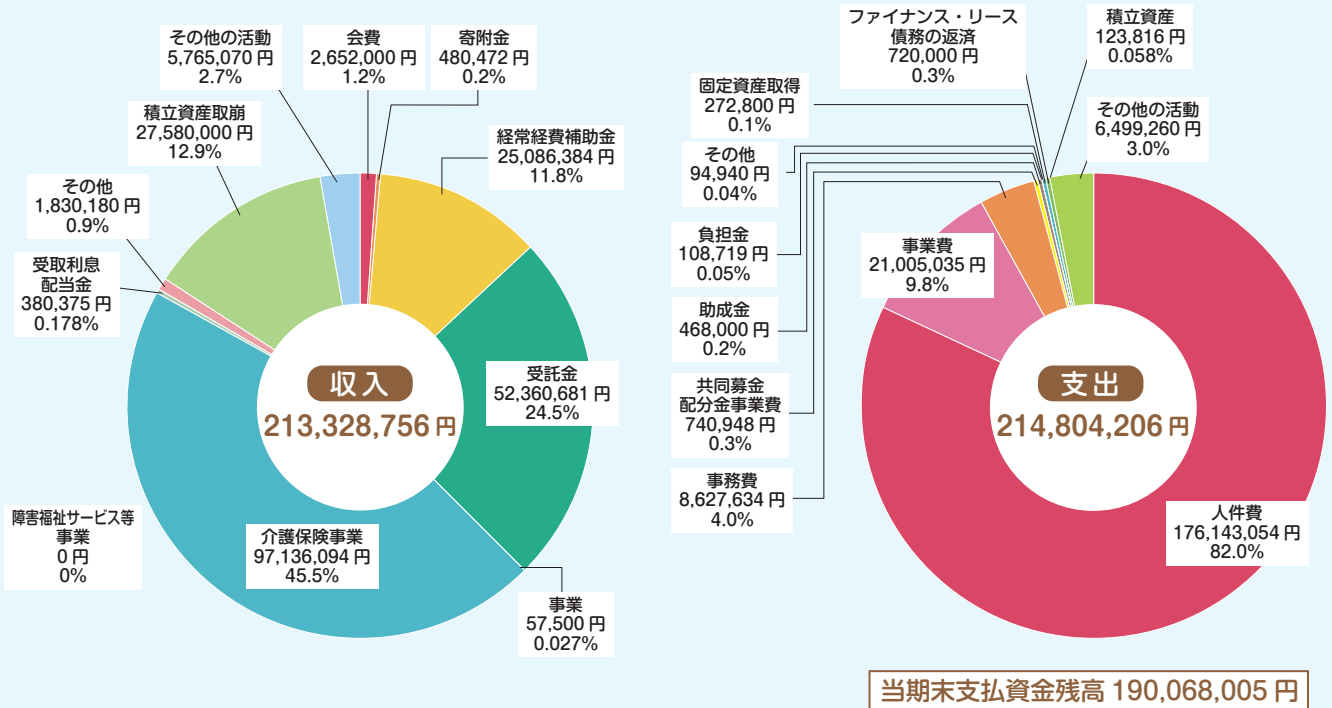
1 社協組織の強化

組織の円滑な運営と各種事業の適正な経営管理に努めます。また、地域福祉活動計画を実施し、より充実した福祉活動の展開につなげます。

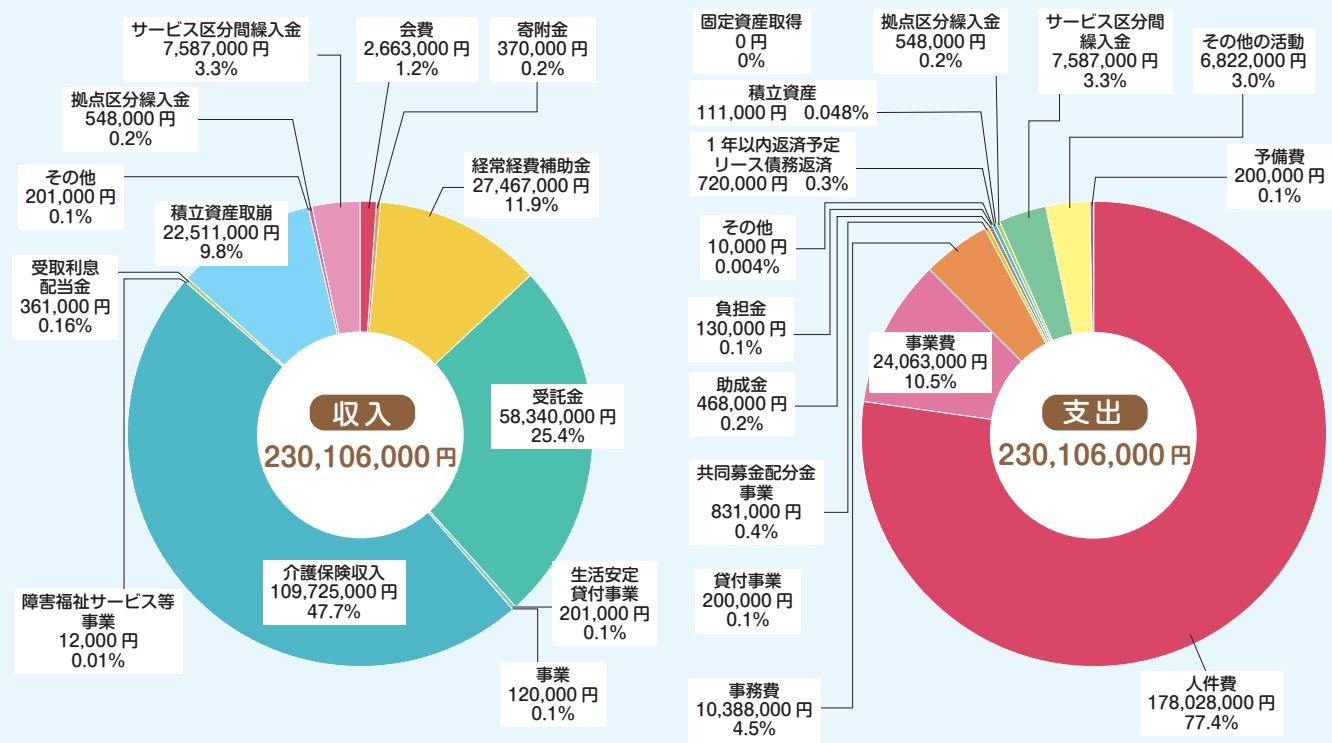
2 職員体制の整備と資質向上

職員の効率的な配置や業務分担の見直しを行うとともに、定期的な研修会等を開催しながら職員の資質向上を図っていきます。

令和7年度 社会福祉事業会計決算報告



令和8年度 社会福祉事業会計予算



寄付ありがとうございました。



3月10日(火)、デクセリアルズ株式会社 多賀城事業所様より洋服の寄付を頂きました。

温かいご支援に心より感謝申し上げます。必要とされる方へお届けするなど大切に活用させていただきます。

高校生ボランティア



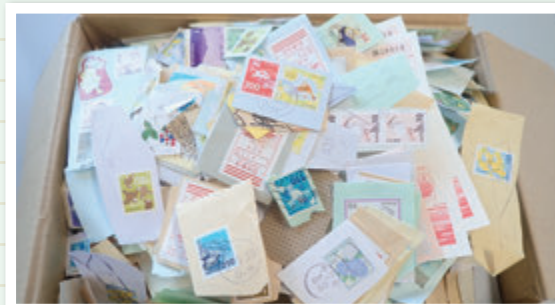
宮城県大河原産業高等学校川崎校ボランティア部の生徒さんが川崎町デイサービスセンターに来ていただき、館内の清掃活動を行いました。床や洗面台等の掃除を丁寧に取り組んでいただき、館内がさらに明るく気持ちのよい空間になりました。ありがとうございました。

使用済み切手ありがとうございました。

届いた手紙やハガキなど、使用済みの切手はお手元にごいませんか？

使用済み切手は、知力ハンディキャップを持つ方々の自立支援活動に役立てられています。

集まった使用済み切手は、【NPO法人 誕生日ありがとう運動本部】へ寄贈します。



ボランティア友の会活動紹介

ボランティア友の会では、毎月一人暮らし高齢者の方を対象に気軽に集まり交流ができる場、お茶っこ飲み会を開催しています。健康のために体を動かしたり、簡単な手工芸をしたりしておりますので、ぜひご参加ください。



ボランティア募集!!

川崎町ボランティア友の会では、会員になりたい方を随時募集しています。

活動内容としては、月一回のお茶っこ飲み会の開催や、町、福祉団体の行事への協力、災害発生時のボランティア等があります。

皆さんの出来る範囲で活動をしていただいておりますので、ご興味のある方がいましたら、お気軽にご連絡ください。

釜房ダム清掃

6月6日(土)に、川崎町の資源をいかす会主催の、釜房ダムのゴミ拾いに、事務局3名が参加してきました。空き缶やペットボトルだけでなく、タイヤや釣り竿等も捨てられていました。この活動は、皆さんに美味しい水を届けたいという思いから始まった活動だそうです。これからも川崎町の象徴である釜房ダムを通じ、お互いに協力しながら活動していければと思います。



防災・出前講座開催

川崎町社会福祉協議会では、地域の皆さんを対象に防災プログラムの出前講座を行っています。災害に役立つ知識や日頃からできる備えについて分かりやすく楽しく学べる内容となっています。

自治会、サロン、各種団体などへ伺いますので、お気軽にお問い合わせください。



救命救急研修



5月22日(金)「救命救急について」みやぎ県南中核病院 救急看護認定看護師 渡邊 晶子様を招いて、社会福祉協議会職員を対象に救命救急の研修を受けました。講習では心肺蘇生法やAEDの使用方法について学び、実際に人形を使って心肺蘇生を行いました。万が一の場面でも落ち着いて対応できるように、繰り返し学ぶことの大切さを実感した研修となりました。

世代間交流イベント 夏休み福祉体験 × 男の料理教室

日時 令和8年7月25日(土) 9:30~16:00

場所 川崎町健康福祉センター

対象者

- ・町内在住男性
- ・お父さんと小学生のお子様
(兄弟に未就学児がいる場合、応相談)
- ・小学生のお子様だけの参加もOK

持ち物 三角巾、エプロン、マスク、筆記用具

参加費 500円(小学生無料)

※定員になり次第終了



当日の内容

9:30 受付
手作りピザ、
簡単炊き込みご飯、
和え物

12:00 会食
コミュニケーション麻雀
カフェタイム

16:00 解散

申し込み・問い合わせ
川崎町社会福祉協議会 TEL 0224-85-1222

二次元コードでの
申し込みOK➡



社協インスタはじめました

川崎町社会福祉協議会でInstagramをはじめました。
日々の活動やお知らせを配信します。ぜひ御覧ください。
ホームページもあります！



KAWASAKI_SHAKYO

Instagram



ホームページ

お知らせ

※毎年、川崎町社会福祉協議会で夏に開催してきたボランティアサマーフェスタですが、気候変動による気温上昇に伴い、真夏の屋外開催が難しくなったため、今年は新しい形で10月4日に開催することに決まりました。

なお、24時間テレビ「愛は地球を救う」募金活動に関しては継続して行ってまいります。皆様からの募金は、福祉支援や災害復興支援などに役立てられます。ご協力をよろしくお願いいたします。

24時間テレビ「愛は地球を救う」募金活動

日にち：8月29日（土）10:00～16:00

場 所：川崎町健康福祉センター正面玄関入り口

24時間テレビ「愛は地球を救う」グッズの販売も行う予定です。



オータムフェスタ26



社会福祉法人

川崎町社会福祉協議会

社会福祉法人 鶴寿会

・ ドリームの郷

共催

町内の社会福祉法人と力を合わせて開催します!!

日 時：令和8年10月4日（日）10:00～13:00

場 所：川崎町健康福祉センター

内 容：にじます釣り、

100円ゲームコーナー（射的、輪投げ、スーパーボールすくい）

米はかり、パン食い競争、玉入れなど…

抽選会等も予定しております。

景品につきましては、豪華賞品も用意しております。

皆さまのご来場を
お待ちしております。

詳細は10月の社協だよりでお知らせいたします。

かわさき

社協だより

2026年7月
【No.111】

発行：社会福祉法人川崎町社会福祉協議会 川崎町大字前川字北原23-1 TEL.0224-85-1222

ホームページ <https://www.kawasaki-shakyo.com> または [川崎町社協](#) で 検索 してください

制作/印刷：大場印刷株式会社